

ひなたぼっこ通信

2019年
1月号

新年明けましておめでとうございます。

常日頃の社会福祉法人ひなたぼっこに対するご支援、ご鞭撻に深く感謝申し上げます。

昨年は宅幼老所で安心してお泊りをしていただくためのスプリングクーラー設置、総合事業受入れ室の拡大、厨房の拡大などを行いました。また、これまで富士見高原病院様のご厚意で恋月荘の跡施設の一部をお借りして、放課後等デイサービスを行ってまいりましたが、春休みや夏休みなど朝から使えない事からその都度民家をお借りして対応してまいりました。

十一月に新施設が完成し、子供さんたちにも伸び伸びと生活していただけるようになりました。この施設では、放課後等デイサービスはもちろんのこと、無料学習塾や地域の交流室としても活用していきたいと考えています。

さらに、ハード面だけでなく、介護の質を上げる為に法人内研修や外部研修に力を入れ、また、不適切ケアやハラスメント防止などにも力を入れ、入居者、利用者様に安心して利用していただける施設、入職した職員がやりがいや生きがいを持てる職場づくりに力を入れています。これまで以上のご支援、ご教授をお願い致します。

(理事長 森 正明)

あけましておめでとう
ございます！



ケアハウスから

「口腔ケアもインフルエンザの予防に！」1階

今年もインフルエンザの季節がやってきました。先日は、利用者様、スタッフ共に予防接種を行いました。予防接種は感染、発症時の重症化を防ぐ事が目的です。1回の接種で効果は50〜70%くらいかと聞きます。

今年もインフルエンザ予防対策の勉強が開かれ多数出席しました。基本は、やはり、「手洗いがいい、マスクの着用、外出や人ごみを避ける。」などのことです。そして、意外に思われるでしょうが、口腔内を清潔にする事が大事だそうです。

口腔内の細菌はインフルエンザウイルスを粘膜に侵入しやすくする酵素を出すため、口腔を不潔に保っているとインフルエンザに感染しやすくなります。また、歯周病による炎症もウイルス感染を促進させます。適切な口腔ケアは、ウイルスの侵入を防ぐ事ができるといいます。1日4回の通常の歯磨きに「ブラッシング」や「舌磨き」の指導を加えた高齢者施設では、インフルエンザの発症率が十分の一に激減したという報告があるぞうです。

うです。

でも、このあたり前の簡単な事ができないのが現実なのかも、、、。昨年はケアハウスでは多くの発症者がでて、感染が広がりました。今年は、看護、スタッフとも異常に気づいたら、早く報告し、早めの対応や受診を心がけ発症時はそれ以上広がらない様にしていかなければと思います。

高齢の方は体力もないため重篤な状態におち入りやすくその後の合併症により（肺炎等）命にかわってくる事も少なくありません。施設内、居室の温度、湿度、空気の換気等こまめな調節が必要です。

今年もインフルエンザの発症者0になる様、一人一人ができる限り実行し、この冬を、みんな元気な乗り越えて行きたいですね。（み）

「いよいよ来ました初雪！」2階

十二月十七日朝起きると外が雪化粧しており、びっくり！！そろそろ来るかなと思ってはいたものの、来たら来たで慌てます。雪道の運転は苦手なので十分早めに出て、いつもよりゆっくり運転し、いつもより少し早めに施設へ到着しました。今日は霧も出ていて施設から外を見ると真っ白で、

車椅子に乗られた利用者様に「今朝は雪が道路に積もって



て大変だったよ」と話すと「ほんと?」と気づいておられなかったようです。

夕方、歩行器を使用している利用者様が廊下を歩いて来られ、「今ね、富士山がきれいに見えるっていつから見てきた。きれいだっただよ!」と笑顔で話してくださいました。

冬になると寒いので嫌だと感じてしまう私ですが、寒くて晴れた日には富士山がきれいに見え、雪が積もった日は雪化粧した景色が見られ、利用者様との話はずみ、満更でもないと感じた1日でした。

これから本格的な冬将軍が訪れますが、そうしたときには利用者様から子どもの頃の雪遊びの話聞き出して盛り上がり、寒さに負けず過ごしていききたいと思います。(た)

宅幼老所から

「忘年会」

十二月の末に、恒例となりました一年の締めくくり「宅幼老所忘年会」の鍋パーティーを2日間に分けて行いました。下ごしらえは前日から行い、昆布から出汁を取り美味しい鍋のスープが完成しました。

各テーブルに鍋をセットし、べっぴん煮込んで



いくとデイルームにはおいしそうな香りが広がります。こんなに大勢で鍋を囲むことは滅多にないので、皆さんとても楽しみにされていました。

美味しく煮えた鍋は野菜がたくさんヘルシー鍋だったので、おかわりする利用者様がたくさんいらっしゃいました。

皆さん「おいしいね〜」「3杯もおかわりしちゃったよ」などと喜んでくださり、お腹いっぱい美味しく食べてくださいました!また来年も美味しい鍋を期待しててください!

放課後等デイサービスから

「引越しいか月」

早いもので、新しい施設に引越して1か月余りがたちました。「ひろーい!」「きれい!」が、玄関から建物に入ったときの子どもの言葉でした。同時に目に飛び込むのが、壁一面のボルダリングと、天井からつるされたロープやハンモックです。子ども達は、思い思いにロープに上り、またボルダリングを楽しむようになりました。「せいせい!見て見て!」と最上部まで登った子どもが言う、「ほくもー」と上り始める子がいます。

このように、子ども同士の「響き合い」は素晴らしい、お互いに影響をしながら成長していつていることを、日々実感させてくれます。



下の写真は、ボルダリング遊びの1コマです。「まるでスパイダーマンみたい!」とほめた。彼の得意の表情は言うまでもありません。

グループホームから

「餅つき大会」

十二月に、宅幼老所と合同で餅つき会をしました。少し寒かったですが、好天に恵まれ、餅をつく軽快な音が響き、二日のお餅をつきました。今年、利用者家族から、餅つきに使う道具を寄付して頂きそれが大活躍しました。できたお餅は、ご利用者様に振舞いました。いつもと違うおかずがお盆に乗り、終始とても喜んでくださいました。残念ながらお餅を食べにくい方には、すいとんを作らせて頂き、すいとんの上に小豆や醤油マヨネーズなどをのせ、お餅を食べると同じ感覚を味わって頂きました。



理事長 森 正明

〒399-0211

富十見町富十見11650-1

TEL 0266-61-2365

FAX 0266-61-2366